

水を仕事にする魅力、やりがい

自ら手がける、誇れる仕事



■失敗を学びに
入社してから6年間、
追究し課題を解決してい

小さい頃から川や海の生物を観察することが好きでした。学生の頃、汚染された川の水を見て「水をきれいにしたい」という思いを強く抱いたことが、水に関係する仕事に就くことを目指したきっかけです。太学では応用化学を専攻し、化学工学に特化してプラントに関する知識を深めました。就職活動は水処理プランターからの絞り、数あるメーカーの中でも水処理プラントにとって必要不可欠なバルブ・ゲート類の製造を自社工場で行っている当社に惹かれ入れ社を決めました。

■水環境の改善を
前澤工業 環境事業本部
プラント建設事業部
上水施設部設計課主任
深堀 謙和さん

新設工事をはじめ、老朽化した浄水処理設備を更新する工事などにおいて、機器の選定から機器配管のレイアウトを記した施工図面の作成や竣工後の試運転までを担当しています。

入社1年目から大きな工事を任せてもらうことがありました。最初は不安もありましたが、上司から「失敗を恐れずたくさん学んできなさい」と声をかけてもらおうともに所属部署をはじめ、現場でも多くの方にフォローしてもらしながら一つの設備を完成させることができました。いざ試運転を行うと、設計通りにいかないこともあります。一つひとつ原因を

■水環境の改善を

前澤工業 環境事業本部
プラント建設事業部
上水施設部設計課主任
深堀 謙和さん



■人に誇れる仕事

プラントは、受注額や携わる人数、工事の期間など全てにおいてスケールが大きくなりますが、それを自分で設計できることに魅力を感じます。スケールが大きくなる分、責任も重くなります。人が誇れる仕事であると自負しております。

当社は自ら考えて行動することを尊重する会社であり、若手でも意見を出しやすくチャレンジやすい環境だと思います。私もこれまで多くの失敗をしてきましたが、そのたびにさまざまな方々に助けてもらい、非常に職場環境に恵まれていると感じています。今後はこれまで培ってきた経験を設計に活かしていくことで恩返ししていくことを考えております。